

第4回 特別講義

人々の生活に寄り添う「新しい社会」を実現するために、
行政・企業と連携した社会課題の解決や環境負荷低減に向けた取組み、
そして、それらの取組みを支える
デジタル技術の活用事例を紹介する。

挨拶 「未来社会の実現に向けて」 (5分)

澤邊 紀生 教授 京都大学 経営管理大学院長

第1部 オルタナティブデータと経済学の発展 (30分)

宇南山 卓 教授 京都大学 経済研究所

第2部 DXで新しい社会を描く (20分)

田中 秀彦 NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部長

第3部 デジタル社会の裏側を支えるテクノロジー (30分)

大西 壮輝 NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部 企画部長

第4部 生活者視点での豊かな社会の実現
～デザイン思考を用いた取組み～ (20分)

佐藤 慎二郎 NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部 デジタル技術部

#クラウド

#AI

#エコシステム

#データ活用

#グリーン

#デザイン思考

#ソフトウェア開発

#セキュリティ

#SDGs

誰もが快適に過ごせる社会へ

デジタル技術を活かして新たな社会のしくみを創る

2022年

4月14日(木) 18:30-20:15

開催形式: 対面(京都大学 時計台記念館 百周年記念ホール)/オンライン

対 象: 京都大学の学生、教職員

お申し込みは
こちら▶





誰もが快適に過ごせる社会へ

デジタル技術を活かして新たな社会のしくみを創る

Speaker

挨拶

「未来社会の実現に向けて」



澤邊 紀生 教授

京都大学 経営管理大学院

1990年京都大学経済学部卒業、立命館大学経営学部専任講師、九州大学経済学部助教授などを経て、2007年より現職。博士（経済学）、Chartered Global Management Accountant。専門は、会計学、管理会計、マネジメントコントロール。近年は実務家と研究者が組織的に協力して実施する臨床会計学研究プログラムに力を入れている。2016年 Emerald Literati Award 受賞。

第1部 オルタナティブデータと経済学の発展

経済学では、これまで統計調査に基づくデータを用いて社会の構造を分析してきたが、デジタル技術の発展で新しいデータが利用できるようになりつつある。オルタナティブデータとよばれる新しいデータとはどのようなもので、何がわかるのかを、京都大学で取り組む調査プロジェクトに基づき紹介する。



宇南山 卓 教授

京都大学 経済研究所

東京大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。慶応義塾大学、神戸大学、一橋大学などを経て、現職。日本経済・家計行動・経済統計が専門。現在、家計簿アプリを活用した家計収支調査プロジェクトを実施している。（詳細は<https://www.rich.kier.kyoto-u.ac.jp>）

第2部 DXで新しい社会を描く

NTTデータは、企業間や業界間の垣根を超えて、「Digital」と「Green」をキーワードに、社会全体の新たなしくみ・価値の創出に取り組んでいる。本講演では、社会に変革をもたらす最新技術のトレンドと、NTTデータが考える新しい社会の実現に向けた取り組みを紹介する。



田中 秀彦

NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部長

技術研究部署にてUnix系技術評価、システム開発プロセスの研究に従事。システムアーキテクト、プロジェクトマネジメントとして、大規模・高難度プロジェクトへ参画。システムアーキテクチャー技術の専門チームのマネージャーなどを経て、現職では、デジタル先進組織をリードし、ワールドワイドで顧客並びに当グループのDXを推進。

第3部 デジタル社会の裏側を支えるテクノロジー

NTTデータが提供する社会システムやサービスは、最先端の研究・開発によって培われたデジタル技術で構成されている。本講演では、より快適なデジタル社会を目指す取り組み事例とそれを支えるデジタル技術（人工知能(AI)、IoT、仮想現実(VR)、など）を紹介する。



大西 壮輝

NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部 企画部長

Webシステムや自動化ITソフトウェアパッケージなどの開発、中国出向による経営支援を経て、近年では生産技術革新を狙ったアジャイル開発や新規サービス創出のための方法論、それらを支えるシステム基盤の研究開発に従事し、デジタル技術活用の推進に従事。

第4部 生活者視点での豊かな社会の実現 ～デザイン思考を用いた取り組み～

日常生活シーンにおいて、生活者視点での利便性は欠かせないものになっている。この利便性を向上させることは重要であり、本講演では、生活者の真の課題解決のための取り組みや求められている新たな価値について、デザイン思考を用いた事例を紹介する。



佐藤 慎二郎

NTTデータ 技術革新統括本部 システム技術本部 デジタル技術部 課長

入社以来アプリケーション開発、システム基盤の両面から法人、金融分野を中心にシステム開発に従事。グループ会社への出向時にアジャイル組織を立上げ、近年ではデザイン思考やアジャイル開発、DevOps等の研究開発およびデジタル技術の活用を推進している。

情報学ビジネス実践講座

京都大学と協力企業（ANAシステムズ、NTTデータ、DMG森精機、東京海上日動火災保険、三井住友銀行・日本総合研究所、日本電気）がデジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座

詳細／お問い合わせはこちら：

情報学ビジネス実践講座 事務局

<http://www.pib.i.kyoto-u.ac.jp/>

